



氏名	所属	プラン・事業タイトル
ビジネスプラン部門/高校生の部		
小林 花笑	渋川工業3年	CASEからSDGs創生へ!~自動低速電動キックボード開発~
相馬 大輝	同3年	
久保田 美波	市立太田3年	OpenCompany:高校生と企業の知りたい伝えたいを解決
長瀬 華	同3年	
蟻川 宙生	四ツ葉中等5年	根粒菌を使用した空気清浄機の開発
ビジネスプラン部門/大学生・専門学校生の部		
加藤 貨代	中央農業大学校2年	ポイセنبベリー垣根で作物を鳥獣害から守り、副産物を加工・販売する
渡辺 光祐	慶応大2年	HamKastu ~留学生が当たり前物件契約ができる日本に~
佐藤 陽菜	共愛学園前橋国際大3年	一緒に働きたい人を探せ!「LOOK @ ME」
ビジネスプラン部門/一般の部		
宮川 莉奈	Fine Feathers	妊産婦へのサポート「切れ目ない支援」を群馬のホテルから
小阿瀬 夏子	INOS(2023年設立予定)	S/M/L DRIVE THRU FOOD DELI
村山 賢哉	共愛学園前橋国際大学	知的好奇心を刺激して日本社会の学習を変える「MASH-U」
松前 博恵	みらい・わたし研究所	唯一無二の親友との出会い! AI相性マッチングをメタバース空間で
奈良 のりえ	フリーアナウンサー	世界で一番優しい「コミュニティルーム」~Web3.0 メタバースサロン~
スタートアップ部門		
桜井 蓮	FUTURENAUT	群馬で実現する食用コオロギを用いた持続可能なたんばく質生産
横山 全希	OZ	「ガチャ」で循環型ファッションを加速させる。サステナブルなアパレル販売事業
中屋 智博	彩園なかや	「農業×データサイエンス」過去と経験から未来を見据える農業
イノベーション部門		
梶栗 隆弘	エリー	未利用農作物と遊休不動産を用いた次世代型養蚕による食/繊維生産モデル
平湯 聡	大和屋	高崎産コーヒーが珈琲文化を救う ~三方良しの革新~

(エントリー順・敬称略)



独自のビジネスプランを発表する参加者

# 16組 ファイナル進出

10回目を迎えた起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード(GIA)2022」(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)の2次審査が22日、前橋市の同社で行われた。書類選考の1次審査を通過した50組が独自のビジネスプランを発表し、12月4日のファイナルステージに進む16組が決まった。

## 50組が思い込め ビジネスプラン

エントリーした522組の中から選ばれた2次審査出場者たちは、食や農業、服飾、福祉など、さまざまな分野についてパワーポイントを使って3分間で発表

した。食用コオロギを用いた持続可能なタンパク質の生産や、データサイエンスを活用した農作物の安定供給の実現、コーヒーの国産化など、それぞれの思いが込められたプレゼンに拍手が送られた。4人の審査員は経営者の視点から鋭い質問を投げかけていた。

起業家を対象にした「スタートアップ部門」は3組、創業5年以上の事業者が対象の「イノベーション部門」は2組が最終審査への切符をつかんだ。

審査員は田中仁・ジンスホールディングスCEO、鳥越淳司・相模屋食料社長、荒井正昭・オープンハウス社長、清水直樹・上毛新聞社取締役営業局長が務めた。

ファイナルステージは、前橋市の日本トリーターグリーンドーム前橋で公開で行う。10周年を記念し、実行

委員5人によるパネルディスカッション、県内4高校の生徒によるダンスコラボパフォーマンス、高崎頼政太鼓の演奏など多彩な演出で盛り上げる。(中里圭秀)